

# 保育のための自己理解

## — 欲求明確化ワーク『今、私がやりたいこと』 —

中 居 伊久緒\*

自己理解をし、他者理解をし、相互理解をし、ともに共感しあい成長していく過程、すなわち、わかり、わかりあう（中居、1994）ためには、客観的な知識や理論についての学習、あるいは知的な講義形式による学習、とは異なる学習の方法が効果的である。人間中心主義の立場に立つヒューマニスティック・エデュケーションと呼ばれるその学習方法は、学習者が人間の生々しい生活を生きられるようになること、人間関係の中で感情的経験を経ながら、自ら気づき、自らの存在や意味を発見し、選択を行っていくこと、そして、それにともなってより効果的に知識や理論を習得できることを目標とするものである（Hawley & Hawley, 1975）。このヒューマニスティック・エデュケーションの一例がRaths, Simon, & Harmin (1966)の考案した価値明確化（Values clarification）である。

先に中居（1996a, b）は、保育を学ぶ学生が自己理解を深めるための手がかりを提供することを目的として、グループで実際にやってみるための価値明確化ワークを作成し、その実施方法と結果の一部を述べ、それをういた授業の後に提出されたレポートのごくわずかなを紹介した。本論では、先と同様、保育を学ぶ学生が自己理解、特に自分の欲求を把握するための手がかりを提供することを目的として、欲求明確化ワークの実施方法を紹介する。作成に当たりSimon（1974、市川・宇田、1989）を参考した。

このワークは主に保育を学ぶ学生、保育者を目指す学生が自分をわかること、中でも自分の欲求を把握することを念頭に置いて作成したものであり、実際に授業の中で用いたこともある。ワークによって、保育を学ぶ学生が自分らしさを発見し、保育者となるための準備を怠る事なく、保育を学ぶ日々を生き生きと過ごすことができれば、子どもが良質な保育を受けられることを期待できるのではないかと考えたからである。

しかし、このワークの対象は保育科で学ぶ学生に限

定されるものではない。保育者を目指していない方や、保育職に直接かかわりのない方であっても、わかり、わかりあうことに興味や関心を持ち、それを目指している方などなたでも活用していただきたい。そのさいには問いかけの【なぜ#28のチェックが■個だったか】の「保育」の箇所を「医療」「教育」「介護」などに置き換えたり、「保育者」の箇所を、「医師」「看護師」「薬剤師」「教師」「美容師」「理容師」などに置き換えて実施されるとよい。

### 《実施方法》

#### 1. 準備するもの

【用紙】と問いかけ【なぜ#28のチェックが■個だったか】のコピーを人数分、筆記用具。

#### 2. 所要時間約1時間

#### 3. 手順

- (1) 配布 準備した【用紙】のコピーを配布する。
- (2) 教示 次の教示を与える。「あなたの欲求を把握するために【用紙】の①から⑳に、あなたが今、自分が『やりたい』ことや『したい』と望んでいることを、思いつくまま取捨選択しないで（20個）列挙してください。ただし、『（お金、洋服）がほしい』ではなく、また、『（美人、スリム）になりたい』ではなく、『～したい・～たい』と書いてください。つまり、動作・行為・活動・行動に限ります。」
- (3) チェック 次の28項目に該当する「やりたいこと」にマークを記入する。

### 【チェック項目】

#1 現代の最先端科学技術・ハイテクをもってしても実現不可能なこと。例：10歳若返りたい／50cm身長を高くしたい／25世紀に時間旅行したい／機械や道具に頼らず空を飛びたい／去年死んだお婆ちゃんに会いたい

\* 本学保育科助教授（心理学）

#2 大金を要すること。例：世界一周旅行したい／田園調布に家を建てたい／幼稚園を設立したい／自動車を7台買いたい

#3 予め計画・立案を要すること。例：外国留学したい／日本全国3,000m級の山を踏破したい

#4 1年前の今頃は全く「やりたい」と望んでいなかったこと。

#5 1年後の今頃は全く「やりたい」と望んでいないだろうこと。

#6 仮に100歳まで生きたとして、そのときも「やりたい」こと。

#7 非生産的なこと。例：芝生でひなたぼっこしたい／何も考えずボーッとしたい／18時間連続で寝たい

#8 精神的・身体的に危険を伴うこと。例：北極点単独到達したい／世界一周独りぼっちヨット航海したい／タバコを吸いたい／麻薬を打ちたい／大酒を飲みたい

#9 社会的ルールに照らすと変則的なこと、逸脱すること。例：集団でバイクに乗って暴走したい／コンビニで万引きしたい／学校の窓ガラスを割りたい

#10 褒められる、賞賛される、感謝される、喜ばれること。

#11 自分一人っきりでやりたいこと、一人でできること。

#12 誰か他人、相手・メンバーがいないとできないこと。例：野球したい／ケンカしたい／結婚したい／同窓会したい

#13 誰かにしてあげること、他人に働きかけること。例：プレゼントを上げたい／困っているだれかに力を貸して手伝いたい／あの人に大事な話を教えたい／献血したい

#14 やりたいことを実現するため具体的に努力していること。例：「プレゼント」するために手袋を編みたい／「世界一周旅行」のために積立貯金したい

#15 「やりたい」と「やらねばならない」をすり替えていること、誰かがやってくれるなら喜んで代わってもらいたいこと。例：洗濯したい／布団を干したい／宿題のレポートを書きたい

#16 「手段」を「目的」にすり替えていること。例：「アルバイトしたい」←「お金を手に入れたい」←「服を買いたい」←「流行の服を着たい」←「仲間に見せたい」←「見せびらかして自慢したい」／「短大を卒業したい」←「高学歴の肩書がほしい」←「一流企業に勤めたい」←「結婚相手を見つけない」←「高収入の相手と楽な暮らしをしたい」

#17 誰かがあなたにやらせていること、誰かがあなたにやらせたがって、あなたがやっていること（≡あなたがやらされていること）。欲求の主人公があなたでなく、誰か他人であること。例：お母さんの「子どもを“せめて短大”には行かせたい」／お父さんの「娘を“幼稚園の先生”にならせたい」／教師の「学生に絵本を読ませたい」

#18 これからの人生で、最低でも週に1度くらいはやりたいこと。

#19 年間を通して、限られた今この季節・時期にやりたいこと。例：除夜の鐘をつきたい／七五三のお参りに行きたい／クリスマス・カンタータのコーラスの練習がしたい

#20 自己改善、自分を高め向上させること。

#21 天候や気温に左右されること。

#22 身体的な運動、活動を含むこと。

#23 （将来）自分の子どもにも（できれば）やって欲しいこと。

#24 緊張をほぐし、イライラを解消し、リラックスさせてくれること。

#25 自分にとって、実行容易なこと5つ。5つ以下しか書き出していない場合は、「1」位から順位をつける。

#26 自分にとって、実行困難なもの5つ。5つ以下しか書き出していない場合は、「1」位から順位をつける。

#27 自分にとって、重要なもの5つ。5つ以下しか書き出していない場合は、「1」位から順位をつける。

#28 自分が保育職につき保育者になって子どもを保育するための準備としてやりたいこと。ただし、準備と言え言えない“間接的な”ことは除く。“能動的”に準備する意識をもっていることに限る。例：絵本30冊読んで内容をまとめる宿題をしたい。

（4）配布 問いかけ【なぜ#28のチェックが■個だったか】のコピーを配布する。

#### 【なぜ#28のチェックが■個だったか】

まずはじめに、“やりたこと”として書き出した個数について。あれも・これも・何もかもと、多すぎる欲求《食欲・欲深い・欲張り》は、自分を振り回し、自分を苦しめる事にもつながる。人によっては、もう少し「時間的ゆとり・気分的余裕・何も考えないとき・ぼんやりする時間」を積極的に設けることをおす

すめする。

しかし、保育科生としてあるべき自分の怠慢をごまかすために、「やりたいこと」としてたくさんの《楽しみ・遊興・お遊び》を書き出して、忙しそうなフリをしたり充実しているかのように見せかけていたとしたら、それは《手段の目的化》ではないだろうか？もしそうなら、あなたが自分で書き出した「やりたいこと」を実行に移していないのも、それに向かって努力していないのも、筋が通る。

“やりたこと”の《個数》よりも、《内容》に注目してほしい。それが「私って何？」に対する答えの一部分だからです。「～をやりたいがっている私」や「～したいという欲求を持っている私」。それらは間違いなくあなた自身の一部なのです。

もしかすると、「自分がどのような欲求を持っているか」が分からないあなたは、「今、自分が何をすべきか」が分からない毎日を送っているかもしれない。また、「自分がどのような目標を目指しているか」が分からないあなたは、「短大保育科で何を学ぶのか、なぜ学ぶのか」が分からない毎日を送っているのかもしれない。そして、そんな毎日だからという理由から、毎日を「とりあえず遊んでおいて、オモシロオカシク過ごそう」につなげる思考は、お粗末すぎる（高い授業料を払っている親が哀れだ、かわいそうだ）！以下に、詳しく述べよう。

まず、「なぜ#28のチェックが■個だったか」の問いかけに対して、あなたはどのような答え・返事（理由）を思いついただろうか？

たとえば、

◇今のところ保育する自信がないから。

◇もっと勉強してからでないと保育するなんて無理だから。

◇保育者になる準備でやりたいことは授業で現在進行中だから。

などという理由は、私から言えば《問題の先送り》。

◇保育できる自信を持ちたい。

◇保育者としてのできる限りの実力を身につけたい。

◇もっと保育について勉強したい・学びたい。

などを“今、私がやりたいこと”のリストの中に書き出していましたか？毎日通学して、時間割にしたがって授業（の回数）をこなすだけで、“自然に”自信が湧いてくるのでしょうか？！実際、入学してから“自然に”過ごして来たきょうの日までに、どれだけの自信が湧いてきましたか？どれくらいの自信が蓄えられましたか？

そして、もしも、現在やっている（授業を受ける、保育を学ぶ）ことが自分の本当にやりたいこと（保育者になる準備）だったなら、

◇もっと～し続けたい。

◇～をやめたくない。

と望んだり願ったりするのではないのでしょうか？

◇まだ保育者としての自覚が持てていないから。

◇学校の授業では保育が身近じゃないから。

◇授業を受け身で受けているから。

などという理由は、その場しのぎの《言い逃れ》としか聞こえない。

◇保育者としての自覚を持ちたい。

◇保育を身近なものにしたい。

◇子どもと接するチャンスを作りたい。

◇授業に対する積極性・自主性を持ちたい。

などがあなたの“今、私がやりたいこと”のリストの中にありましたか？あなたに（保育者としての）自覚を持たせるのはあなたであり、誰かがあなたに自覚をプレゼントすることなどできません。保育を身近にするのはあなたであって、保育がもみ手をしながらあなたに擦り寄って来ることなどありません。

◇今そのときその瞬間にやりたいことを書いたから。

◇将来、（嫌でも）保育者になるから、今、したいとは望まないから。

◇今は遊ぶとき、保育は将来の仕事だから。

などという理由は《問題のすり替え》としか言いようがない。

“今、私がやりたいこと”を書き出した「今」は、何の時間でしたか？どこの場所でしたか？あなたの周囲にいたのは誰でしたか？きょうの、この授業を担当している私は、短大のどの（学）科の教員でしたか？

「保育科に入学した者は、必ず保育者にならねばならぬ」「保育科卒業生は、必ず保育職に就かねばならぬ」という法律などない。保育者になりたくないなら、ならなくても構わない。保育者にならないあなたが、逮捕されることはないし、罰せられることもない。この点をご心配なく。

あなたは、自分の意志で通学しているはずである。毎日、首に縄をつけられ、誰かに無理矢力づくで通学させられているのではないでしょう。登校しなければ痛い目に遭わせると、誰かに脅迫されているのではないでしょう。

◇保育者の大変さが圧倒しているから。

◇保育者になるのが当然のような多くの授業が重荷だから。

という理由は《問題の取り違え》。

そもそも、保育の現場における保育者の大変さを実際に体験したことがあるのですか？保育のアルバイトやパートの経験があったとしても、正職員である保育者の苦労をどれだけ味わったのですか？またその一方、会社員の大変さをどこの企業で経験したのですか？

思い返してみてください。あなたは“保育を目指して保育科に入学した”のであり、“保育者になるために保育科に進学し、保育科生になった”のではなかったですか（これに該当しない人がいることは承知している。その点については後に述べる。）！

保育科の目的は“保育を担える人”“保育する心をもった人、保育できる力・技のある人”を養成することです。この目的を達成するために保育科の授業があります。保育科の教員である私はその目的を達成するために授業をします。つまり、あなたが“保育を目指して保育科に入学した”か否かにかかわらず、また、2年間の学びの後に保育職に就くか、それ以外の職業に就くかにかかわらず、両者を別け隔てすることなく“保育を担う人”“保育する心をもった人”“保育できる力・技のある人”を養成するために授業をします。

◇自分をレベルアップしたいから。

◇自分を向上させる方が先決だから。

◇いろいろな経験をしておきたいから。

◇私の夢は保育者になることではないから。

という理由は《問題からの逃避》。

1年生後期末の試験が終われば居住型施設での『保育実習』が始まり、2年生になれば、幼稚園での『教育実習』が始まる。おそらく今から1年以内に、就職試験を実施する園があり、あなたが受験する可能性もある。

あなたは、実習や就職試験について、「なんとかなるわ」「なんとかなるって」ということばを発していませんか。そういうことばは、保育のために自分の時間や労力を注ぎ込み、自分の力を余すところ無く発揮していろいろな手を打ち、（万全とは言えないとしても）準備した者、準備しつつある者が言うことば。

幼稚園・保育所は、子どもが大人の姿をライブで見ながら、大人の言動に直に接する場である。子どもから見れば、ベテランの保育者も新任の保育者も「先生」だし、実習生も「先生」と呼ばれる。一切区別はない。20年ほど人間をして来て、園児よりも10数十年以上長く生きて来た大人として、ふさわしい発言と行動をとることができて当たり前。子どもたちの「先生」である

あなたの、にわか仕込みの知識にはどれだけの切実さがありますか？その場しのぎの技術にはどれだけの真剣さがこもっていますか？あなたのことばはどれだけの子どもに通じるでしょうか？あなたの思いはどこまで子どもに伝わるでしょうか？

実習や就職試験のための準備を怠っているながら、ふやけたうどんのような「なんとかなるわ」や気の抜けた炭酸飲料のような「なんとかなるって」ということばは、実習先の園の子どもたちや施設の方たちに対して失礼だ！実習生としてあなたを受け入れてくださる園や施設、そこで指導していただく先生方に対して、さらには就職先の子どものたちに対して無礼だ！

今日の授業はあなたの“保育者適性度”を測定するテストではありません。この点は、決して勘違いしないでいただきたい。「自分が保育者に向いているか、向いていないか」は、現場で3～5年ぐらいい働いてからでも遅くないし、それくらいの期間がなければ判断できない、と私は考えている。（だが、明確な科学的・実証的根拠があつて言うのではない。幼稚園なら年少・年中・年長クラス、保育所なら乳児から年長クラスまでの担任を一通り経験してから、という程度。）

しかし、よくファッション雑誌などに載っている占いやゲームでもないし、暇つぶしやお遊びのつもりで授業をした訳ではない。この点はくれぐれも誤解なきよう。

「（あなたの書き出した）やりたいことのすべてが保育に関係していなければいけない」「やりたいことの全部が保育者になるための準備でなくてはならない」などと言うつもりはまったくない。それどころか、もしもそんな人がいらっしゃったら、こんなふうに言ってあげたい。「『保育、保育』とか、『保育者、保育者』とか、肩に力を入れ過ぎないで、ゆっくり歩いてみてはいかが」「もう少しまわりに目を向けてはどうかな」「もっといろいろなことに首を突っ込んでみるのも悪くないですよ」と。

でも、保育に関係する「やりたいこと」が一つもない、ほんの少ししかないというのは、保育科の授業を担当している私から言えば、いただけない話だし、黙って見過ごせない。のんきに構えてはいられない。

私は、「保育科生である≠保育を学んでいる」「保育科の授業を受けている≠保育者に近づいている」「子どもとの接触を望んでいない≠保育者に向いていない」と考えています。そして、「#28（保育の準備）のチェックが少なかった（または、1つもなかった）」あなたのことを、『保育者になれない・なっていないは

ない・なるべきではない学生だ』と言うつもりはまったくありません。念のため。

去年、進路を検討し受験するときに、担任教師から「他の学科も受けてみれば」と言われても「絶対に保育科!」と言い返して、父親から「他の短大も受けてみれば」と言われても「絶対に平安!」と言い切って、母親から「毎日～時間もかかる通学はしんどいよ」と言われても「平女の保育!」と言い張って、いませんでしたか?そして、めでたく合格通知を手にしたとき、きつと（跳び上がって、涙を溜めて）大喜びしませんでしたか?あのときのあなたは、一体どこへ行ってしまったのですか?あのころのあなたと今のあなたは、本当に同じあなたなのですか?

まさか“義務”や“ノルマ”として学生生活を送っているのですか?自分の意志で、自分の目的を達成するために、通学していないのですか?誰かに頼まれて、“お義理”で短大生を続けているのですか?

もしもそうだとしたら、中学や高校のときの国語や数学や英語に対するのと同じ姿勢であなたが短大保育科の授業に臨んでいることも、私には納得が行きます。しかし、それでは、短大で受けた授業内容はいつかあなたの中から消え失せてしまいますよ（だって、高校までの一夜漬けのテスト勉強で暗記したことほとんどは、今、残っていないでしょう!ひょっとして、試験で合格した前期の履修科目のいくつかさえも?）。それに、毎日の短大生活は楽しくないでしょう。通学時間・授業時間は苦痛でしょう。“授業（時間）の終わり（を告げるチャイムの音）”や“学期末・年度末”，さらには“卒業式”が待ち遠しくてたまらないでしょう。

「欲求・望み・願望・目標・ゴール」は、《満たす・達成する・実現する》ためにあるのです。「やりたい」・「～したい」と、ただ《つぶやく》ためや、誰かに向かって《言ってみる・言うておく》ためにあるのではない。あなたの欲求を実現するために行動に移すのは、移せるのは、ほかの誰でもないあなたです。あなたの夢がいつまでも叶わないのは、願望の実現が程遠いのは、行動に移せない・移しにくいからではなく、あなたが一向に行動に移さないままだからではないのでしょうか。まわりの誰かが妨害しているからではなく、先へ進まないように引きとどめたり、動きかけた自分の足を自分で引っ張ったり、自分で自分の首を絞めているからではないですか?

今、アルバイト（パート）代は1時間いくらですか?「お金の有り難さを思い知る」「時間の有意義な

使い方を身につける」など、アルバイトにいわゆる“社会勉強”の側面があることは認めます。また、「お金はないよりあるに越したことはない」というのも一理あるし、否定のしようが無い。生計を立て、生活するためには、『稼ぐ：働いて収入を得る』必要が絶対にある。

しかし、今、保育科生であるあなたが、『儲ける：金銭的に利益を得る』差し迫った必要がありますか?「自分の欲求」も握めていないまま学業をお留守にしたり、「自分の将来」を切り開かないでお金を稼いだり貯めたりする必要性がどれだけあるのですか?学生でなくなれば働けます。卒業したらいくらでも働けます。うんざりするほど働かないといけないときが来ます。そうしないと食べて行けませんから、生きて行けませんから。

「保育を後回し・置き去り・店晒し」にしてブランド品や流行のファッションで飾り立てた保育科生は、美しい?素晴らしい?輝いている?おしゃれ?格好いい?イケてる?短大は自分の持っているブランド品を見せびらかすための場所だろうか?アルバイトで稼いで買った最新流行の品を競うコンテスト会場だろうか?

スーパーやファーストフードやファミレスの売上に貢献することを最優先することが、保育科生のあなたにとって意味ある過ごし方なのですか?将来のあなたにとって価値ある時間の使い方なのですか?アルバイト先の店長はあなたの明るい未来を確約してくれましたか?オーナーはあなたにどれほど幸せな人生を保証してくれたのですか?

今一度あなたの時間割を見てください。土曜日・日曜日は授業がありませんね。そして、週に1日は半日（午後から?）空き時間があるはずですが、どうしてそんなにあなたは忙しく、時間的に余裕が無いのでしょうか?なぜそんなに疲れているのでしょうか?一体だれのせいでしょうか?

さて、先に少し触れた「保育者（・保育の担い手になること）を目指していない方」にぜひ伝えたい。

毎年、保育科生の中には「保育者（・保育の担い手になること）を目指していない」とおっしゃる方がいらっしゃいます（あまり大声ではありません。しかし、その数少なからず）。そして「子ども好きじゃない」とおっしゃる方さえも。

そういった方たちが、「保育科は忙しい、面白くない、しんどい」と不満をこぼしたりぼやくのは当たり前。でも、誤解してほしくない。保育科生は幼稚園教

論二種免許状と保育士資格を2年間で取得するために、他の学科の学生と比べると確かに「忙しい」。ご存じのとおり保育科のカリキュラムは山盛り、時間割は過密。しかし、「面白くない」のは短大のせいではないし、「しんどい」のは保育科のせいではない。気をつけてほしい。あなたの不満・ぼやきは、あなたが《自分のやりたいこと》に時間を使わずに、《自分のやりたくないこと》とまでは言えないにしても、《自分のやりたいことではないこと》に多くの時間を浪費しているから出てくるのです。どうか、“勘違い”して短大を“悪者扱い”しないでいただきたい。保育科に濡れ衣を着せたり責任をなすり付けることはやめてもらいたい。それはとんだ“筋違い”で“お門違い”。

「保育科は忙しくて、面白くない、しんどい」と不満をぶちまけて一時的に気分が暗れても、「忙しさ、面白くなさ、しんどさ」は何も変わらないし、《自分のやりたいこと》には一歩も近づけない。それを承知のうえで、不満をこぼし、ぼやき続けて下さい。ただし、私は聞き役を引き受けるつもりはないので、どなたか適当な方を探してください。

「私は保育の担い手を目指していない」とおっしゃる方達にさらに申し上げたい。どうか、くれぐれも「保育を目指している人」の足を引っ張らないでいただきたい。《「保育を学ぶ」＝自分のやりたいこと》に邁進している人に、迷惑をかけたり邪魔するのは許し難い行為だ。“学びのチャンス・学ぶ権利”を手に入れるために「保育を目指している人（の親）」がつぎ込んだ授業料を、「保育の担い手を目指していない」あなたが（本人やその親に代わって）ドブに捨てる権利も、（本人に）捨てさせる権利もない。授業中に、授業に関係ないおしゃべり・雑談、いわゆる“私語”がしたくなったら、静かに教室の外に出て行きなさい。眠りたいのなら、早く家に帰り布団にもぐりこみなさい。私は制止しません。私は、学びたくないあなたに、学ぼうとしないあなたに、授業を受けるように強制しません。

「私は保育の担い手を目指していない」とおっしゃる方たちに教えてほしいことがあります。

第一に、どうしてあなたは《自分のしたいこと》のために自分の時間や労力を注がないのですか？なぜ《自分のやりたいこと》を見つけようとししないのですか？保育を《自分の目指すこと》にたどり着けなかったときの“逃げ道”としてキープしておくため、言わば、万が一のときの保険にでも入るつもりで保育科に進学したのですか？親に、（掛け捨て）保険金として

授業料を払わせているのですか？

第二に、あなたが目指している職業・業界（たとえば出版・音楽・放送など）は、あなたが保育科に在学して、その職に就くための準備をしていなくても、あなたを採用してくれる見込みがあるのですか？この点、私も世の中の仕組みを知り尽くしている訳ではないので、どうしても分からないのです。本当に前もって準備していなくても、就職してから順調にやって行ける業界なのですか？（もしもそうなら、保育とは随分と事情が違って、甘い職種、ちょろい業種、お気楽な仕事、なのですね。）

以上2点、あなたの考えや業界の事情をぜひ聞かせてください。お待ちしています。

自分がどうしてもやりたいことや、自分の本当にしたいことや、ほかの誰にも譲れないやりたいことがあるなら、それに関する情報を集めたり知識を入手するために動き出し、たとえ少しづつでもできるところから着手し始めるでしょう。保育以外の学科の大学・短大に進学したあなたの知り合いと比べてみてください。授業以外で、あなたはその方とどこがどれほど違う学生生活を送っていますか？

保育者になる準備は、保育者になる前にしかできない。保育者になってからは、保育者になる準備はできない。なぜかと言えば、保育者になってから、日々の保育（実践）を高めるための準備はできても（その準備をしない保育者など論外）、保育者になった途端、保育者になる準備はできなくなるから。保育（実践）をレベルの高い良質なものにできるかどうかは、今、この養成校に在学している準備期間に養った力と培った技にかかっている。準備期間は、そんなにたっぷりある訳ではない。保育科生の今、準備しないで、あなたは一体いつするつもりなのですか？

自分が保育者になれるかどうか、保育者としてやって行けるかどうかを心配するのは、準備しながらでもできるでしょう。それで十分です。準備期間に準備せずに、自分が保育者になれるかどうか、保育者としてやって行けるかどうかの不安が減る訳がない。もしもそれらを減らしたかったら準備すればいいことです。何の準備もしなくて、自分が保育者に向いているかどうか分かるなんて、それこそまさに奇跡です。口先だけで「保育は奥が深い」「子どもはあなどれない」などと言うのは10年どころか100年早い。

保育者は医者や看護婦ではないから、たとえ保育の場で何らかのミスを犯しても、子どもの“生命”を左右することは（全くない訳ではないが）そう多くはな

い。しかし、覚悟しておいた方がいい。あなたの準備不足のために、子どもの“心”や（少しもおおげさでなく）子どもの将来を、きっと大きく左右する。園児だった頃のあなたにとって、『あの先生のあのときの対応は一生忘れられない』という感謝感激の思い出や、『あの先生の口から出たあの一言は死んでも忘れない』という辛く惨めな記憶が、きっと一つや二つはあるでしょう。

良い意味でも悪い意味でも、保育とはそういう仕事なのです。“逃げ道”として、片手間にこなせるお手軽な仕事ではないし、暇つぶしにできるお気楽な仕事でもない。それが保育という仕事なのです。

2年間、短大に在籍して必要単位を取得さえすれば、紙切れとしての免許状・資格はあなたの手に入る。でも、それだけでは保育に関する知識・技能に血が通っていない。また、保育に対する意欲・情熱・気迫・自信が欠けている。さらには、子どもに対する愛情・信頼・熱い思いがない。自分がそんな“ペーパー・ドライバー”のような保育者で、あなたは満足だろうか？納得が行くだろうか？私から見れば、それは保育者ではなくて、あらかじめ「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」に沿って入力されたプログラム通りに動くことしかできない“保育ロボット”か、上司からの命令に無分別に従ったり指示された通りに無節操に動くしか能の無い“保育マシン”に過ぎない！

「子どもの幸せ」を考える保育者。その考えに沿って「こんな子どもに育ててほしい」という願いを持つ保育者。その願いを実現するための「こんな保育がしたい」という目標や「あんな保育をしよう！」と決意する保育者。そんな保育者に保育してもらえない子どもはいい迷惑だ！（特に、保育所の場合、）通園してくる子どもたちのほとんどが、本人の意志で通って来ているとは言いがたい。そんな子どもに毎日接する保育者が目標や決意に欠け、何ら自分の考えももたず子どもたちへの願いも持っていないようでは、子どもが哀れだ！「先生」という肩書をひけらかし、己の世間体だけを気にし、自分の保身を第一に考え、最低限の職務を無難にこなすことしかやろうとしない“事なかれ主義”の保育者。そんな保育者に担当される子どもはかわいそうだ！

そんな保育者の楽しみって一体何だろう？まさか、休日（が近づいて来ること）なのだろうか？そんな保育者の喜びって何だろう？まさか、給料（がもらえること）だけだろうか？

もしもあなたに子どもがいたとしましょう。あなた

はわが子を、なんとなく勉強して保育者になり、そのまま漠然と保育を仕事として続けている人間に、保育してもらいたいのですか？そんな人間にわが子をゆだねますか？

今、「将来の夢は？」と誰かに尋ねられたら、あなたは「幼稚園の先生！」とか「保育者になること！」って答えるのでしょうか？そして「どうして？」と聞かれたら、「子どもが好きだから！」と答えるのでしょうか？それって、高校生のころと同じセリフ、進路選択のときのつぶやきの繰り返しではないですか？そんなの、「さすがに短大に進学して、（たとえ短期間であっても）保育を専門的に学んだだけのことはある！」と言える返事ではない。あなたが4月に入学してからもうこんなに長い月日が過ぎたのですから。もしもあなたが今でも保育者を目指しているのなら、「自分がどんな保育者になるのか」「どんな保育をするのか」という目標を定めても決して早すぎない。

平安女学院短期大学保育科を卒業して、もしもあなたが保育者になったなら、「お宅のお子さんをぜひ私に保育させてください」と自信を持って言えますか？「私が勤務する当園への入園を心よりおすすめします」と胸を張って言えそうですか？

(5) レポート提出 次の2つのテーマについてレポートを求める。

①なぜ#28のチェックが■個だったか。

②「今、私がやりたいこと」の授業で感じたこと、気づいたこと、学んだことなど。

最後にレポートの一部を紹介する。

**97K. M.** 今日の授業でいままさらながらにあせりを感じた。自分で将来のことや〔略〕自分の立場から逃げているとはわかっていたが、本当に心の中を読まれたようにプリントの内容がすべて私にあてはまっただけで言葉がでなかった。どれだけ口先だけで将来について語っても行動がともなっていないと意味がない。〔略〕このプリントは大事にとっておいて月に1回読みかえします。

**98K. F.** 私は、自分は何がやりたいか、はつきりしないのにこの学校に入学した。（とりあえず資格でも…）という気持ちだった。だからすぐに学校生活がおもしろくなくなり、辞めたいと考え始めた。「私の本当にやりたいことは、きっと他にある」と思い込

んだ。理由はどうであれ、この学校に入ると決めたのは自分なのに責任逃が〔※遁〕れをしていた。何か（誰か）のせいにするのは簡単だ。今の自分の行動に責任を持つことができないのに、この先、本当にやりたいことが他に見つかるはずがない。今日の授業を受けなければ、私はこのまま一生、「私の本当にやりたいことは、きっと他にある」と言い続けていたかもしれない。

98 H. S. 私は毎日のように、朝、学校に行く前と、学校から帰ってきてから、必ず母親に「だるい」「しんどい」「つかれた」「眠い」「忙〔が〕しすぎる」と文句ばかり言っていた。そのたびにいつも「うるさい!!そんなに嫌なら、学校やめたらいいやん。別に、お父さんもお母さんも学校に行ってって頼んだ覚えもないし、保育者になってって、お願いしたこともないやろ。それに、お母さんやったら、あんたみたいな保育者に、自分の大切な子どもをあずけたくないわ」と言われる。私はその言葉を言われるたびに「冷たい母親や」と思っていた。そして、私はよく母親に「自分を着飾ることばかり考えてないでもっと自分自身を見つめなさい。もっとシャキッと堂々と胸を張って生活しなさい」とも言われる。確かに、自分の大切な我が子を私のような保育者のいる保育所や幼稚園には行かせたくないはずだ。もし、私が母親だったら絶対に行かせたくない。非常に、子どもに対してもその親に対しても失礼きわまりない話だ。母親に言われ続けてきたことが、今になってやっとわかった。入学して半年以上もたった今になって…。私は、今回の授業を受けた日の夜に早速母親に今回の授業内容を全て話した。すると、母親は「やっとあんたの高い授業料を払うことに対してお父さんもお母さんも間違っていないと胸を張って言えるわ」と一言だけ私に言った。

00 K. M. 私はこのプリントを読んで正直なところ腹が立った。しかし、冷静に考えてみると、このプリントは私の思っていたことを全て言っているから、何も言い返せない自分に腹を立てていたのかもしれない。それを中居先生のせいにして、腹を立てていたようだ。恥ずかしい限りである。

00 F. M. 私は、1日1日の授業が終わると「疲れた」と言い、「自分は大変なんだ」「自分はよく頑張っている方だ」と自分自身で思い込み、自分を甘く見

ていた。〔略〕親は、「自分のやりたいことをすればいい」と言ってくれ、何もかも自分で選んだ道なのに自分で自分の道を閉ざしてしまっている。

00 A. M. 他の学科の人たちは、よく休講がある為掲示板の前で喜んで叫んでいる姿を見かける。でも、私は、保育科は、休講がたまにしかない為、掲示板を見てものってない気がするのであまり見ない。〔略〕しかしまだ、心のどこかで、嫌な教科が休講であるというのを聞くと喜んでしまう自分もいる。しかし、私は、学ぶために学校に来てるのに休講だと聞いて喜んでいてどうするのだ。

00 S. N. 〔略〕問題は今までの短大生活何をしていたのか?どんなに怠けてきたのかです。先生の授業のたんびに自分はこれだけさぼってきたのだと実感しつつも、家から短大が遠いとか、授業がしんどいとかぼやいていました。〔略〕このままだと親も捨て金同然です。授業を聞く事すら出来ない私が子どもを教える事なんて、とんでもなく、〔略〕実習に行ってもおろおろするばかりで困って、恥をかくのは私です。もしこのまま保母〔※育士〕さんになれたとしても、続くはずもなければ子どもも寄って来ない。

## 文 献

- Hawley, R.C. & Hawley, I.L. 1975 *Human values in the classroom*. Hart.
- 中居伊久緒 1994 わかり、わかりあう 倉戸ツギオ (編) 発達と学習の心理学—自己教育力をはぐくむ— ナカニシヤ出版 Pp.23-42.
- 中居伊久緒 1996a 保育のための自己理解—価値明確化ワーク『新規職員採用』— 平安女学院短期大学紀要, 26, 46-55.
- 中居伊久緒 1996b 保育のための自己理解—価値明確化ワーク『新規職員採用』実施結果— 保育研究 (平安女学院短期大学), 24, 18-25.
- Raths, L., Simon, S.B., & Harmin, M. 1966 *Values and teaching*. Charles E Merrill.
- Simon, S.B. 1974 *Meeting yourself halfway*. (市川千秋・宇田光訳 1989 教師業ワークブッケー価値明確化による自己発見の旅— 黎明書房)



【用紙】		Check	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
今、私がやりたいこと																														
やりたいこと																														
(1)																														
(2)																														
(3)																														
(4)																														
(5)																														
(6)																														
(7)																														
(8)																														
(9)																														
(10)																														
(11)																														
(12)																														
(13)																														
(14)																														
(15)																														
(16)																														
(17)																														
(18)																														
(19)																														
(20)																														